

1 上飯田エリア



毎回約 150 食をお渡ししています。

上飯田団地では毎月第2月曜日の高齢者食事会を会場での持ち帰り配達体制で実施。受け取る方の中には、「久しぶりに外に出た」と話す方も。来られた様子や、参加できなかった方の見守りも兼ねた食事会からの取り組みは、「やり方を工夫しても続けることが大事」と判断しました。受け取りに来た方の名前を控え、声をかけながらも短時間で受け渡ししています。

2 いずみ野エリア



サロンの内容は毎回違います。写真は打楽器を持って合奏を楽しみました。



サロンいずみ野すこやか会は現在月に1、2回いずみ野地域ケアプラザにて事前申込制で参加人数を調整し、マスク着用・消毒・三密を避け開催しています。代表の大木さんは「コロナ禍の不安から外出を控えたり、人に会う機会が少ない日々が続くことで健康な生活ができなくなることは大きな問題です。今こそ地域の交流の場の大切さを感じています。これからも楽しく笑顔になれる活動を工夫していきます。ぜひご参加ください」と話されました。

5 新橋エリア



ボランティアの協力で食糧を仕分けました。

新橋地区社協「コミュニティしんばし食堂」では、食堂は再開できなくても何かできる活動がないかスタッフで相談。結果、お菓子や缶詰・乾麺・調味料などの食糧を、食堂を開催していた第3金曜日に配布することにしました。お菓子をいただきに久しぶりに連自治会館にやってきた子どもやその親たちが、再会を喜び話に花を咲かせていました。

6 岡津エリア



小学生の体験の様子。畑作業のコツを伝授します。

中川地区社協の「里山夢プロジェクト」は、畑作業を通じた仲間づくりの取り組みです。外の活動ということもあり、毎週火曜日の作業の参加者が増えています。お楽しみの休憩時間は密にならない、ゴミは持ち帰るなど感染対策を呼びかけています。最近では西が岡小学校の6年生が畑作業を体験したり、岡津中学校の生徒が岡津地域ケアプラザからの紹介で参加。新しい参加者の広がりも生まれています。

3 下和泉エリア



お祭り中止により行き届かなかったさつまいもを掘りました。

下和泉・富士見が丘地区子育て支援ネットワーク連絡会では例年実施している泉が丘中学校での生徒と親子との交流会が中止になりました。しかしコロナ禍でも親子に新しい体験をして欲しいという思いから屋外でのお芋ほりを企画しました。参加者は二部制で、間隔をあけるなど感染予防を実施。当日は泉が丘中学校の生徒がボランティアとして参加し、子どもとふれあう機会になりました。

4 いずみ中央エリア



どなたでも利用できる地域の方のための居場所です。

常設サロン「いこいの家」はいつものように開けていることで、住民に安心感が生まれる！とのスタッフの思いから再開！午前と午後の二部制にし、人数制限等感染予防対策も万全。再開時には利用者から「開くのを待っていた！」「会えて嬉しい」という声がありました。美味しいコーヒーやお茶を飲みながらマスクをつけておしゃべりしています。

平日(月～金)オープンしています。ぜひお立ち寄り下さい。

7 踊場エリア



これからも楽しい公園遊びを企画中です。

中田地区公園遊びプロジェクトは、1年を通して、地区内の公園にて地域のボランティアを中心に公園遊びを行う取り組みです。9月1日(火)には、しらゆり公園にて、おもちゃなどの消毒を徹底したうえで実施しました。子どもたちが元気いっぱい公園の中で遊んでいる様子を、中田地区やしらゆり地区の民生委員が見守っていました。身近な公園が親と子と地域住民の距離が縮まる場所になっています。



今号では地域ケアプラザエリア別に取り組みを紹介しました。今回掲載した以外にも、地域の取り組みは様々な形で継続や再開に向けて動き始めています。活動の目的に沿いながら、今、代わりとして出来る工夫や変わずに出来ることを今も検討しています。お住いの地域の活動などぜひ応援、ご参加下さい。次号(75号)でも、引き続き地域での活動について紹介する予定です。